

# 英語科

## 言語活動を充実させるためのビデオ教材の有効性について

鈴木 克彦

**【抄録】** 初級レベルの英語指導であっても、創造力豊かに表現できる生徒を育てたい。プラスワンダイアログという方法論に、ビデオ教材のもつ臨場感あふれる英語表現を学ばせる指導を加え、さらに豊かな英語表現のできるように指導した実践研究である。

**【キーワード】** プラスワンダイアログ、ビデオ教材、コミュニケーション能力、発信の英語

### 1. はじめに

平成5年度に「ビデオ教材を活用してコミュニケーション能力を育成する英語指導（中1）の実践研究を行なった。新指導要領に基づく新しい教科書（New Horizon 東京書籍）を使っの授業に生徒より教師の方が、右往左往していたという当時の現状で、コミュニケーションということばを key word とする授業をいかに行うのかを模索した。

特に聞く・話すの指導を充実させるために、「NHK ビデオ基礎英語」を使った指導を中学1年生に試みた。また、状況に合わせて英語を考えさせるために、「プラスワンダイアログ」の実践を平行して行った。

研究の成果については、本校中等教育研究協議会英語科部会で発表を行なった。

平成6年度は、英語によるコミュニケーション能力の育成を授業の中でいかに反映し、方法論として確立していくかをさらに研究を深めることにした。

### 2. 問題意識

今日英語教育においてはコミュニケーションということばが key word となった感がある。これをいかに授業に反映し、方法論として確立していけばよいのか日夜研鑽して止まないことである。新指導要領においては、とくに聞く・話す指導の充実が、中学校における英語指導での改善の要点の一つとして挙げられる。この点での指導技術の向上が望まれる。

### 3. 研究目的、方法

教科書の対話教材で「プラスワンダイアログ」の指導を行ないつつ、ビデオ教材による指導を付加することで、プラスワンダイアログでの表現がどれだけ豊かになるかを検証したい。

ビデオ教材の指導の有効性を高めるために、ビデオ

教材の利用方法を提示方法、提示の時期、生徒の興味関心、学習のさせ方等との関連を追求していく。

### 4. これまでの研究成果

「プラスワン・ダイアログ」の提唱者は伊藤雄二先生（東京学芸大竹早中学校）である。現在、この指導法を取り入れ、全国各地でさまざまな実践が行なわれている。これは生徒が教科書の対話文に、新たに台詞を付け加えたり、言い換えたりしながら、問答を拡大、継続させていくものである。

「この活動は、生徒自身が対話文に台詞を付け加え演じやすくするためのプロセスである。よってすべての対話文が、この活動に適切であるとは限らない。7つのプロセスがある。（中略）この活動は、いろいろな実践者からの報告で、中学校からの大学、社会人まで幅広い学習者に適用できるものと確信している。」

私の考えでは、上述の考え方にプラスして、この活動では redundant な英語を使うことになりがちだが、むしろこの redundancy を語学習得段階で、積極的に利用し、学習者の production の能力を高めようということもしたい。応用範囲は広く、中学から大学、社会人レベルまで適用可能である。しかし、初級レベルでは既習語彙が少なく、本研究ではこの語彙の少なさをカバーするために、教科書のレベルを逸脱することのない、また、中学生が興味をもって見ることが出来る「NHK ビデオ基礎英語ⅠⅡⅢ」のビデオソフトを用い、プラスワンダイアログの活動を充実させようというものである。

先行研究として、名古屋大学教育学部附属学校における平成5年度中等教育研究協議会で、発表した「ビデオ教材を活用してコミュニケーション能力を育成する英語指導」がある。

## 5. 実践1 ビデオ教材の提示なしでのプラスワンダイアログ

### (1) 指導課程

- ① 単語、聞き取り、意味、基本文、音読、role playing などの指導
- ② プラスワンダイアログの指示
- ③ ノートに書かせ、数例発表後、板書
- ④ TP間で、板書例を用いて役割練習。
- ⑤ PP間で、ペア練習。

### (2) 具体的な指導例1 (中1)

New Horizon Book 1 Lesson 7 Part 1 & 2

Mike : What's that? Is it a boat?  
 Yumi : No, it isn't. It can fly in the sky. (A)  
 Mike : Is it a bird? Oh, I see. It's a crane.  
 Yumi : That's right. This is origami.  
 Mike : Oh, it's beautiful. Origami is very interesting.  
 What else can you make?  
 Yumi : I can make some animals. (B)  
 Mike : Can you make any flowers?  
 Yumi : Yes, I can. Can you?  
 Mike : No, I can't. Do many Japanese like origami?  
 Yumi : Yes. It's a popular hobby. (C)  
 指示 : (A)~(B)にそれぞれ one sentence を追加してみよう。  
 生徒の作った英文例 ☆ (☆印は以下生徒作品)  
 (A) It can walk, too. It can eat, too.  
 It has wings. It has bills.  
 It is beautiful.  
 (B) M : Can you make a dog?  
 Y : Yes, I can.  
 M : Can you make a cat?  
 Y : Yes, I can.  
 M : What animals can you make?  
 Y : I can make a dog, a cat and a lion.  
 (C) Everyone likes it. It's my hobby, too.  
 My friends like it very much.  
 But I don't like it.  
 Origami is from China.  
 But some Japanese don't like it.

#### • role playing の重要性

中1のテキストは90%以上が会話である。音読の指導だけに終わらず、TP間、PP間の役割練習は十分に行ないたい。特にTP間での練習ではTの方で教科書の英語を変えてやると、次に行うプラスワンのヒントとなり、やりやすくなる。

そして、いよいよプラスワンダイアログに入る。ま

ずは指定した箇所に、生徒が英語を書く。和英辞典などもたせるのもよい。「~というのは英語でどう言うの?」などの質問が矢継ぎ早に出される場面だ。

次に、個人氏名で(A)~(B)を数例発表させ、板書する。各自がおもしろいと思えば、自分の作ったものに板書のものを取り入れてもよい。

次の(4) TP間、(5) PP間でこれを練習してみる。こうしたrole playingを「プラスワンダイアログ」として練習している。

### (3) 具体的な指導例2 (中2)

Lesson 1 Ken in the United States Part 3 での実践。(本文の内容は次のとおり。

ken : Did you watch Back to the Future on TV last night?  
 Ming : No, I didn't.  
 ken : How about you, Joe?  
 Joe : I only watched the first half of it. Then I studied hard for today's math test.  
 ken : Oh, no! Do we have a math test today?  
 Ming : Yes. What's wrong?  
 ken : I didn't study at all. ( )  
 指示 : ( ) に one sentence 追加してみよう。  
 生徒の作った英文例  
 ☆ I don't like math tests.  
 ☆ Oh, I have a cold. I go home.  
 ☆ I don't like the math teacher.  
 ☆ I have a good friend. He likes math. He has a math test. ほかのかわりに  
 ☆ I watched TV yesterday.

中1でプラスワンダイアログのトレーニングはしているので、次のつなく文が何も頭から出てこない生徒はいない。中2の4月の段階では、習った英語を駆使していると見える。

プラスワンは初めの段階ではあまり無理をしない方がよい。creativeなものをと焦って生徒をこの活動から遠ざけてはいけない。初めは、日付とか名前を変え(というレベルから徐々にやっていかなければ、生徒はいやになってしまう。おもしろさが分かってきたら一歩踏み込むのである。

### (4) 具体的な指導例3 (中2)

「プラスメニュー」というのを Lesson 3 Who Did It? でやってみた。ストーリーはある夜女性が帰宅すると室内が荒らされたようすだった。茫然とした女性に、背後から忍び寄る暗い人影…。

Slowly the door to the next opened. A dark figure came in. It came up to her with a knife in its

hand And

指示：この後のストーリーは君にお任せ！！

生徒の作った英文例

☆ The figure handed the knife to her and said, "Please peel an apple I want to eat." (Imaoka)

☆ "Have you woken up?" said the doctor She is on the bed in hospital. She said, "Oh, I had a fearful dream I was scared to death then" (Hijikata)

☆ It said, "Hey, Susan, I'm going to cut your birthday cake with my knife, OK?" Just then Susan woke up and knew it was a dream (Akinobu)

● ☆ And he said, "Where is the rest room?" (Mishima)

☆ The dark figure cut Susan's head, hands, and feet with knife. It ate her eyes. (Kato)

☆ The figure came up to her and pushed a knife in front of her eyes and said, "Hi, Susan Do you eat bananas, too?" The figure was her father and the knife was a banana. (Onda)

☆ "Grandfather is here! I'm home! Look at this I found a nice knife in town"

☆ It was coming She was afraid of it But it didn't move and suddenly it said, "Thank you" "Oh!", she cried It was her friend, Mike He needed a knife yesterday. He returned it to Susan. They talked for a long time They had a happy time (Otsuka)

☆ She said, "Who are you?" The dark figure didn't answer It killed her suddenly (Fukuda)

☆ "Hello, Suzan I'm going to peel your apple" "Thank you. Good by, Mike." "Good by for now" (Hayano)

☆ The dark figure cut her back. She tried to run away, but was injured It threatened her and robbed her of money (Suzuyama)

☆ Her face was covered with blood (Yosuke)

● ☆ The knife attacked her She screamed. It was broken It was a toy knife

☆ The dark figure talked to her. She came to the wrong home (Nakase)

☆ The dark figure said, "I'm home." He was her father He said, "This is a cake like a knife. Were you surprised at me?" (Kono)

等など続々と続くのであるが、こうしたものを見るかぎり、中学生たちは創造力(想像力?)なかなかどうして逞しいものがある。

## 6. 実践2 ビデオ教材の提示有りでのプラスワンダイアログ

### (1) 指導課程

- ① 単語、聞き取り、意味、基本文、音読、role laying などの指導
- ② ビデオ基礎英語Ⅱ視聴
- ③ プラスワンダイアログの指示
- ④ ノートに書かせ、数例発表後、板書
- ⑤ TP 間で、板書例を用いて役割練習。
- ⑥ PP 間で、ペア練習。

### (2) ビデオ基礎英語Ⅱ視聴について

#### ① 視聴の目的

「ビデオ基礎英語Ⅱ」は、本年度より、中1、中2、中3向けの3本立てになったため、中学生には利用しやすくなった。今までの「基礎英語」、「続基礎英語」は学年の境目を気にしない制作方法だったため、学校の英語学習を核に勉強している中学生には特に「基礎英語」の後半の継続、「続基礎英語」の前半への取りかかりの時期に問題があり、継続的に番組を聞き続けるのが難しかった。

また、「基礎英語」の時代からビデオは販売されていたが、新たな「基礎英語Ⅰ～Ⅲ」見ておしまいという内容でなく、場面や状況を変えて同じ会話を演じたり、Feel the Rhythm のコーナーではリズムにのって単語を発音してみるなど、参加型の内容である。

#### ② 二様の利用法

listening 指導

英語表現の見本

#### ③ ビデオ基礎英語という映像教材がどう教科書指導(プロダクションをねらった)と結びつくのか

プラスワンダイアログを行なうとき、プラスすべき内容が思い浮かばないというときが、よくあった。理由は教科書がよく対話の筋道がよく縛られているため生徒のアイデアが入りこむ余地がない場合がよくある。教科書の対話の運びを上回るアイデアの宝箱を生徒にそっと渡してやりたい。

これまでに主に、リスニング教材として活用していた、基礎英語ビデオをアイデアのヒントにすることができないかと思った。

94年から、番組の改編に伴い、基礎英語は中学各学年の内容に一層密着したものになり、生徒には学習しやすくなった。ビデオも各月のトピックから4編のみ精選しており、教室での使用にはより適切なものとなった。さらに、同じ対話文をシチュエーションを変えて演技するなど、非常にプロダクティブなものとして活用できる。

題材が教科書のシチュエーションと似ているので、応用が効く。

英語が映像や音声と通して自然に耳に入ってくる。記憶の保持をうまくやれば、ビデオ基礎英語の英語をプラスワントイアログに応用できるのではないか。

④ 方法

(a) ビデオの選択

- ・今やっている題材に結びついたビデオを選ぶ。

(例) 教科書 Lesson 1 Ken in the United States という自己紹介文では、ビデオ自己紹介のところ。教科書 Lesson 9 の老人ホームの訪問と9月号「高齢化社会」など。

(b) リスニングプリント & 気のついた英語

- ・listening 用プリントとして、提示まずは listening 練習させる。
- ・英語に接する態度の形成：おもしろい、使えそうな英語にチェックを入れる態度
- ・常に production を意識させる・英語への接し方の形成

(例) 10月号 指導犬

A: Hurry up I think we can make it

B: A yellow light doesn't mean "Hurry up" It means "Be patient"

A: Oh, all right

B: See? Look at that dog It's waiting (後略)

下線部を空欄にして、聞き取らせ、書かせる。dictation の箇所は後で、英語表現に役立つところを空欄にする。

(c) 表現の復習プリント

- ・使えそうな表現のリストを作る。(教師が作成)
- ・situation を与えて、英語表現を選択。situation にふさわしい英語を考える練習。
- ・ビデオを見せた後の次の授業で「Useful Expressions 基礎英語II」というプリントを作っている。そこでは、ビデオの英語から15文前後の英文をぴう pick up して、音読させたり、表現の練習として下のような問題を解かせ、situation から英語を選ぶ練習をする。

(例) ◇次のような場合との表現が応用できるかな。

① コールデンウィークに友達と乗鞍へ行きました。

I \_\_\_\_\_

② 「東京はおもしろい所がいっぱいあるよ」と先生が言っています。英語では?

You can \_\_\_\_\_

(d) 教科書での指導

- ・プラスワン・タイアログに取り組みさせる。
- ・(2)や(3)のリストを参考に、各自で考える。

(5) 使える表現を見つける具体的な指導例

【4月号】では My first name means ~ という英語がさっそく登場する。4月は自己紹介の英語を作らせることが多いと思うが、My name is ~ I live in ~ と教科書ではのパターン化した自己紹介の文例に、自分の名前に使われる漢字の意味を説明するのは生徒たちにはとても新鮮な英語表現と写った。そこで、☆ My name is Emi Miyoshi My first name means a beautiful picture という英文ができる。

【6月号】では梅雨の話題である。季節の話題は日本人としてどうしても取り上げたいものだ。しかし、その切りだし方には困る。☆ It's raining again This is our third rainy day Do you like rainy days? と平易な英語で切りだせる。

【9月号】では「高齢化社会」というレッスンがある。教科書 Lesson 9 A Listener ではポーラが養老院を訪れ、お年寄りの昔話を聞くという話がある。そこで、9月号の Keiro-no-hi means "Respect-for-the-Aged Day" や We visit or call our grandparents to celebrate We don't have a holiday like that in America We don't say "old people" We say "senior citizens" That sounds respectful などの表現を盛り込んだプラスワンを試みる。教科書の英語は次のようである。

Paula: Last Saturday I was a listener

Ming: What do you mean?

Paula: Many people in homes for the elderly are lonely They have a lot of things to talk about, but they have no one to talk to

Ken: So you went and listened to them Right?

Paula: Yes I think their stories are useful and interesting

Ming: You must be a good listener You're always so kind

Ken: ( )

指 示: Ken になったつもりで ( ) に一言コメントを入れよう。

☆ In the United States, they call old people "senior citizens"

☆ In Japan, we have Keiro-no-hi It means "Respect-for-the-Aged Day"

☆ I think I'm going to visit my grandparents next week and listen to their stories

☆ We should go to a home for the elderly again and again and listen to senior citizens

【夏休みの宿題「自由対話文を作る」での生徒作品】

☆

Ming: Excuse me You are Yumi, aren't you?

Yumi: Yes, I am Oh, Keiko It's my pleasure to meet you

Keiko : Me, too You must be tired Let's go to my house as soon as possible.

Yumi : Yes, Let's It takes a lot of hours from Osaka to Tokyo.

Keiko : By the way, do you have any plans to for the summer vacation, Yumi?

Yumi : Yeah I'm taking a trip to Hawaii next month

Keiko : Wow, That's nice. I can't make a trip because I have to do much homework.

Yumi : That's too bad

Keiko : Will you help me?

● Yumi : All right We can work on it together.

Keiko : Thank you very much, Yumi.

## 7. まとめと今後の課題

### (1) creative な発想で英語を使えたか

生徒の創造力は、教師の想像をはるかに越えて大きなものである。プラスワンを始めたころには生徒にまごつきがあった。それを英語以前の創造力のなさ誤解した時期があったが、慣れるにしたがって、またビデオの英語に刺激されて生徒の内側にあるものをより引き出すことができたと考える。

ただ、英語への興味関心が高い者については、それが大いに言えるのだが、学力不足の者また関心が薄い者には大きな効果はなかったかもしれない。しかし、ある程度の導入をしてやること。つまり、ビデオ教材の英語をプラスワンの活動をどう結びつけているかのヒントを与えてやることで、何も答えられないという段階は脱することができた。

### (2) プラスワンでできた英語の質と量

追加する文は一文という指示を与えるのだが、いくつもの長い文で作る生徒も多い。それはそれで認めてやりたい。こんレベルで、要領よくとか、短くてものを得た英語でということを要求するより、稚拙で redundant な英語であっても、英語で発信したことを褒めてやるべきだろう。● 実際学力の高い者ほど量は多い。

### (3) ビデオ教材のよい点、悪い点

- 動き、わかりやすさ、感動
- シチュエーションの提示……短時間、能率的、教室が現地
- 教科書につかず、離れずの内容 (特に基礎英語 I II III になってから)
- リスニング教材としての適、不適
- 副産物が多い

### (4) メッセージの送り手と受け手を意識した授業

- 教科書の登場人物のことを考える

### (5) 今後の課題

マルチメディア時代のビデオ教材は、個別の興味関心にマルチに对应えられるものであってほしい。英語による発信を主体に考えた場合、当然のことながら、個人の置かれた立場や、考え、興味などによって一様ではない表現が考えられるはずだ。ビデオテープでの指導では、これが一様になってしまう。とはいえ、ビデオ基礎英語はシチュエーションを2様に変えて、英語そのものは変わらずとも、「こういう場面でも使えるのか」と生徒が納得できる編集がされているが…。現在コンピュータの利用により、個別のニーズに对应した英語を検索できるような学習ソフトが開発されているようで、今後はそういった物の利用が考えられる。

英語という教科書はとかく、「ともかく覚えるしかない。」などとやたらに、記憶の面がかりが強調されがちだが、創造力を養う教科となりうる。それも「外国語」という足枷のなかで、いかに豊かに自分の idea を展開していくか、初級の英語学習のレベルから養っておかねばならないことであろう。

この論文は文部省平成6年度科学研究費補助金(奨励研究(B)より研究助成を得たものである。

## 参考文献

- ビデオ NHK 基礎英語 II 4月号~3月号  
(農山漁村文化協会)
- NHK ラジオ基礎英語 II 4月号~3月号  
(日本放送出版協会)
- 伊藤雄二「自己表現力をどうつけさせるか」  
(英語教育1992年4月号大修館)
- 高橋正夫「新指導要領の読み方」  
(英語教育1992年2月増刊号大修館)
- 新里真男「新学習指導要領に対応した英語授業を目指して」  
(中等教育資料文部省)
- 竹蓋幸生「ヒアリングの科学」  
(研究社)